

現場レポート

◆宮崎交通(株)における新型コロナ感染症対策
～宮崎中央営業所の取り組み～

バス事業は、毎日の通勤や通学、通院、買い物など生活の足として、国民生活や経済活動の安定確保に不可欠な公共交通機関であり、今般のコロナ禍の中にあっても、最低限の事業継続が求められています。

そのため、バス事業者では、「バスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に沿って、乗客や運転手が安心してバスを利用できる環境づくりに積極的に取り組まれているところです。

宮崎運輸支局では、8月20日(木)、宮崎交通(株)宮崎中央営業所における感染防止対策の実施状況を見学させていただきました。

同社独自の取り組みとして、

① Withコロナ時代の新たな日常に対応したバスサービスを提供することを目的として具体的な感染症防止対策を盛り込んだ「宮交バス ケア スタandard」を策定(2020年6月19日)の上、路線バス、高速バス、貸切バスを含めた全社的な取り組みとして実施中

② 利用者へマスク着用を呼びかけるポスターを作成し周知

③ 保健師の常駐(宮崎交通(株)で雇用)

が挙げられ、特に③の保健師については、新型コロナウイルス感染症が拡大する前から運転手の体調管理の徹底を図るため、配置されているとのことでした。



運転席へのビニールカーテンの設置により、安全運行に配慮しながら運転士と乗客の接触が最小限になるよう、対策を検証中でした



来訪者向けに、営業所におけるコロナ対策の実施状況のパネル版が掲示されています



安心できる車内環境を確保するため、運転席後方の座席の使用を禁止し、運転手と乗客との間隔が確保されています



点呼時には、ビニールカーテンにより運行管理者と運転手は一定の距離を保つことができます。

現場レポート

◆宮崎交通(株)における新型コロナウイルス感染症対策②
～宮崎中央営業所の取り組み～



乗務前に、運行管理者、運転手ともにマスクを着用し、体温測定が実施されます。



営業所内に設けられた保健師事務室には保健師が3名、交替で常駐しています。



安心して利用できる空間づくりのため、バスの乗降口や車内にポスターが掲示されています。利用者の皆様も、マスク着用のご協力をお願いします！